

令和 8 年度 京都府域渋滞対策協議会

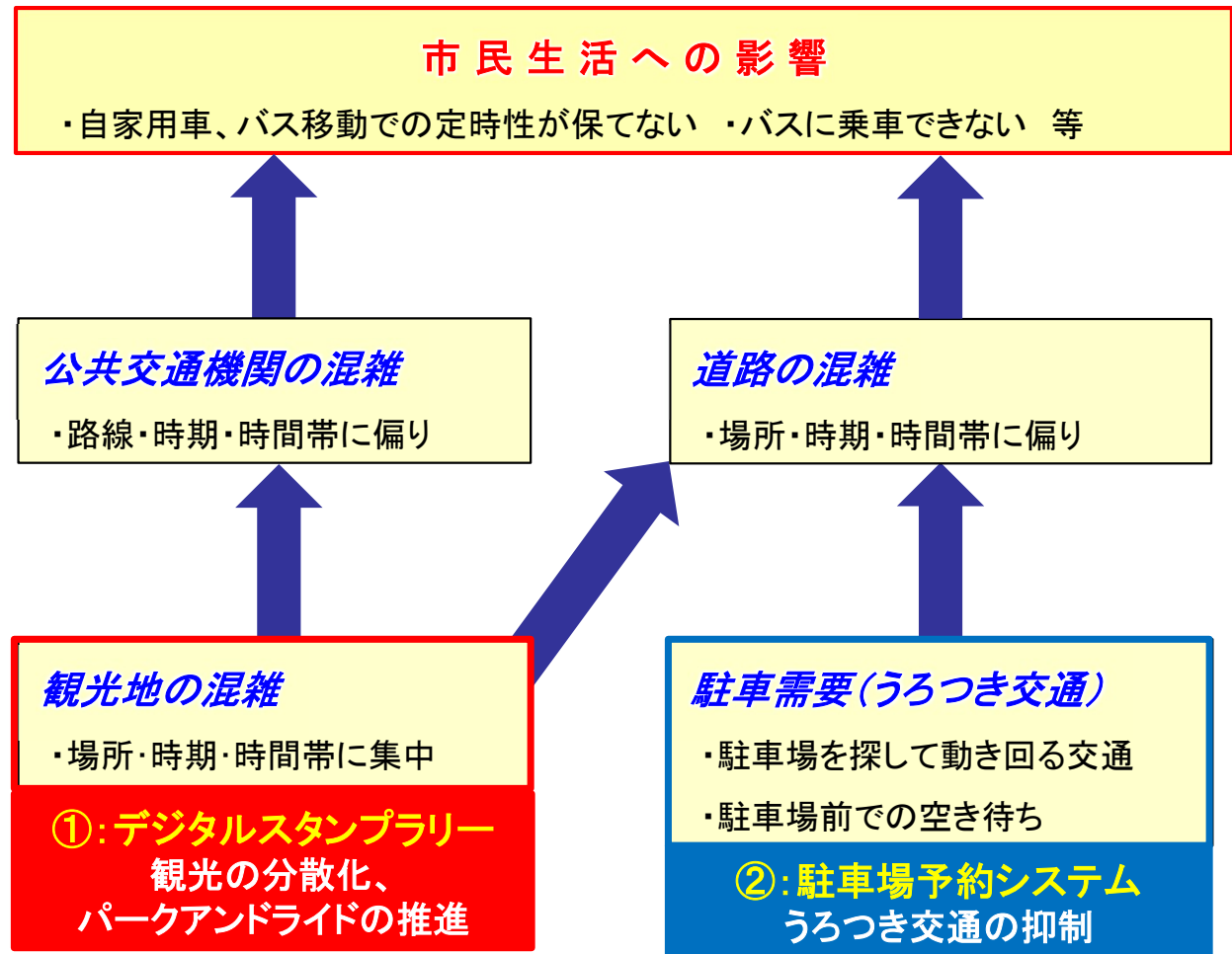
観光渋滞対策の実施状況

1. 観光から見た京都の現状とこれまでの取組

- 京都市では、一部の観光地・道路・公共交通機関の混雑が発生し、市民生活への影響を及ぼしている。
- R6年度からは観光地の混雑対策やうろつき交通対策を実施し、混雑の緩和を図っている。



■京都観光の現状課題と混雑緩和のイメージ

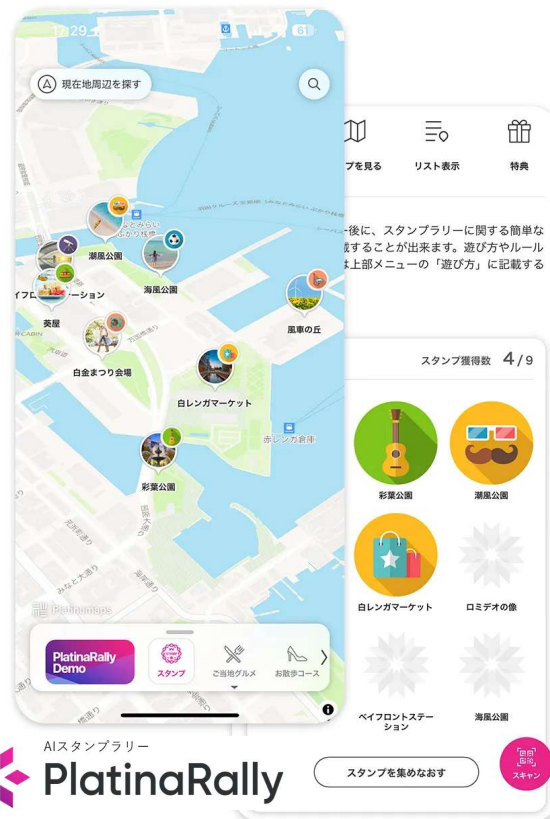


2. 令和7年度の取組 デジタルスタンプラリーの実施

- 京都観光デジタルマップ(京スマ)内に、生成AIを搭載したデジタルスタンプラリーシステムを導入。
- 京スマの利用促進と分散型観光の推進を目的に、楽しみながら行動変容を促す「ゲーミフィケーション施策」を展開。

生成AIを活用した デジタルスタンプラリーシステム

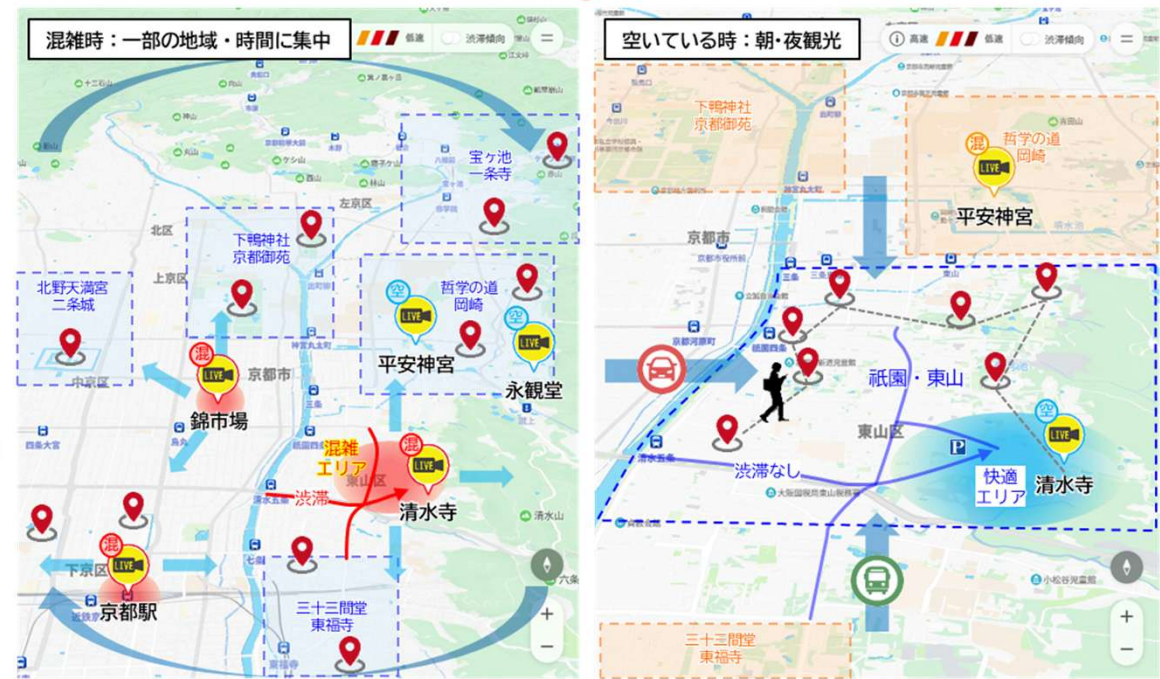
- ✓楽しさと回遊性を高め、分散観光に資する機能を搭載
- ✓AIを活用した多様なスタンプ取得方式
- ✓リアルタイム分析・データ可視化



©Platinumaps, ©Platinarally

京スマの利用促進 新たな観光資源の魅力発信 観光の分散化・回遊促進

ゲーミフィケーションを適用し、施策を展開



期待される効果と波及的影響

1. 「Kyoto Smart Navi(京スマ)」の認知拡大・定着 → 更なる**利用促進**
2. 分散型観光の推進、公共交通の利用促進 → **観光地・道路・市バス**の混雑緩和(パークアンドライド含む)
3. 回遊性の向上、隠れた名所・地域資源の発見
4. デジタル活用による観光体験の向上 → **能動的**で楽しい観光行動を促進
5. 地域経済への波及効果
6. 持続可能な観光(サステナブルツーリズム)への貢献

○清水坂観光駐車場の完全予約制の実施(2026年3月23日～)にあわせ、京都市観光駐車場3か所において“事前予約”と“事前決済”を可能とした「観光バス駐車場予約サービス」を導入し、2026年1月26日より予約を開始。

○3月2日時点の予約件数は、3駐車場で約8,400件に達し、順調に利用が拡大している。

■ 導入する観光バス駐車場

(1) 以下の3施設において、事前予約・事前決済が可能となります。

【2026年3月23日(月)利用分より、本サービスで予約開始】

- ① 京都市清水坂観光駐車場
- ・修学旅行利用の優先予約：2026年1月26日(月)午前10時～

・一般予約：2026年 2月2日(月)午前10時～
- ② 京都市嵐山観光駐車場
- ・一般予約：2026年 2月2日(月)午前10時～
- ③ 京都市銀閣寺観光駐車場
- ・一般予約：2026年 2月2日(月)午前10時～

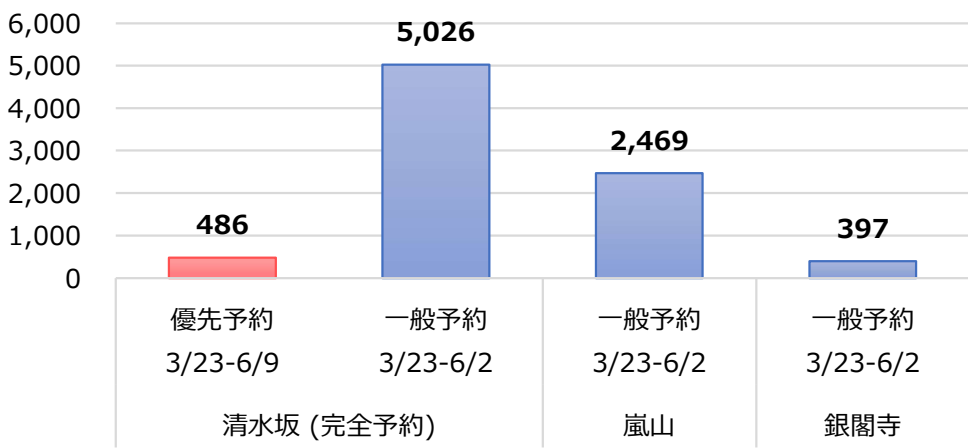
(2) 今後、対象となる観光バス駐車場は順次拡大予定

項目		清水坂観光駐車場	嵐山観光駐車場	銀閣寺観光駐車場
観光バスの駐車台数(通常時)		55台	37台	12台
予約枠数		通常時：20台 完全予約制時：57台※	20台	3台
一般予約	予約開始日	3か月前の午前10時	3か月前の午前10時	3か月前の午前10時
優先予約	有／無	有(完全予約制時のみ)	無	無
	予約開始日	3か月と7日前の午前10時	—	—
	利用条件	修学旅行等証明書の ファイルアップロード	—	—

※清水坂観光駐車場では観光繁忙期(3月～6月及び10月～12月)を完全予約制としており、自家用車の受入を制限し、観光バスの駐車容量に割り当てている。



■ 各駐車場の予約件数(2026年3月2日時点)



(出典) 観光バス駐車場予約サービス 利用ログ 集計期間：2026/3/23(月)～6/9(月)

3. 京都市における取組紹介(京都駅デジタルマップの導入)

○京都市および京都市観光協会では、手ぶら観光のさらなる推進に向け、京都駅構内のコインロッカー満空情報や手荷物配送・一時預かり窓口、市バス乗り場、店舗情報等を一体的に発信するデジタルプラットフォーム『**京都駅デジタルマップ～Kyoto Station Smart Navi～**(通称:駅スマ)』を、2025年9月26日より導入。

京都駅デジタルマップ(駅スマ) ～ Kyoto Station Smart Navi ～

■ 主な掲載情報

手ぶら観光サービス情報：

- ・コインロッカーの位置・満空情報や、手荷物の配送・一時預かりサービス窓口の位置情報等
- ・手荷物の一時預かりサービス及び宿泊施設等への当日配送サービスに係る事前予約等

目的地までのルート検索：

- ・現在地から目的地までのルート検索も可能
- ・スマートフォンのカメラで周辺をかざすことで、

階数を含めた利用者の「現在地」判定も実現(AI技術を活用)

公共交通機関情報：京都駅市バス乗り場や新幹線、JR在来線、近鉄電車及び地下鉄の改札口等

店舗情報：京都駅構内の店舗情報(営業時間・サービス内容等)

その他情報：トイレ、エスカレーター及び喫煙所等の設備情報も掲載

京スマ・駅スマの広告



京スマ・駅スマのYouTube動画



京都駅デジタルマップの画面イメージ

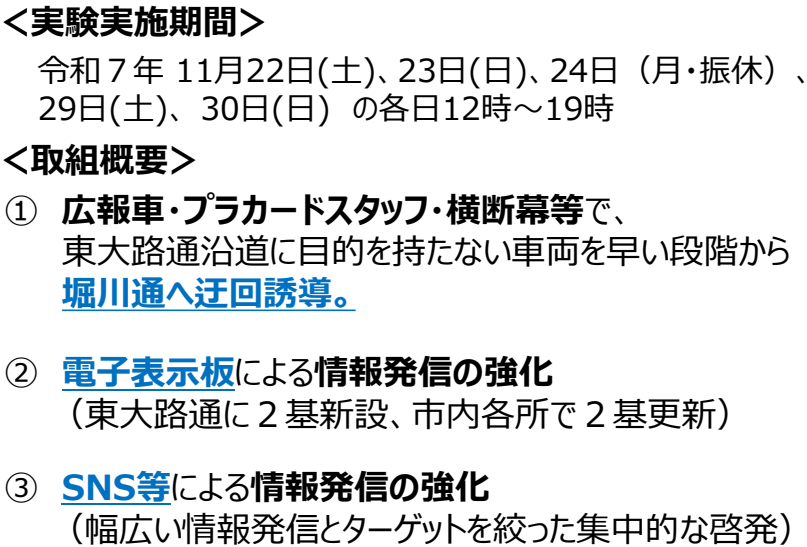


AI屋内測位により、周囲にカメラをかざすだけで現在位置を特定



資料提供：京都市及び(公社)京都市観光協会(DMO KYOTO)

- 観光ピーク時の10月～11月(特に夕方)に東大路通南行(四条通～五条通間)で交通混雑が発生。
○東大路通の渋滞緩和を目指す取組により交通混雑を緩和させ、バスの定時運行性等を確保することで、市民生活と観光の調和を図る。



【結果及び対策の評価】

- 東山丸太町交差点に北側から流入する交通総量は約9%減少。方向別では、直進交通量が約11%減少したことから迂回誘導の効果が確認された
- 東大路通南行の旅行速度は令和6年度と同様の改善が確認された（令和5年度（堀川通への迂回誘導なし）と比較）
- 車線の利用制限を実施しなくとも、事前の周知・広報の強化（SNS等による情報発信）や現地での周知の強化（電子表示板の新設等）により、車線の利用制限時と同等の行動変容を促すことができた。
- 更に、SNS等や電子表示板による幅広い情報発信により、東山丸太町以北のより早い段階から行動変容を促すことができた

4. 今後の取組方針

○観光地渋滞対策として、今後以下の通り対応を行う。

ゲーミフィケーションを活用した取組の継続的な展開

○ゲーミフィケーション施策は、観光行動の変容や観光分散、「京スマ」の認知拡大、公共交通利用促進など、**様々な施策を横断的に促す**手法として一定の可能性があると言える。

○一方、更なる可能性を検証するには利用者増が重要であり、参加しやすさや参加体験の充実など、改善の方向性も示唆。

➡ 来年度以降も、得られた知見を踏まえた改善を加えつつ、**ゲーミフィケーションを活用した取組を継続的に展開**する。

観光バス駐車マネジメントの高度化

○観光バス駐車場予約サービスの機能拡充等を図るとともに、参画する駐車場事業者の拡充を進める。

○予約データの蓄積・分析を通じて、駐車場予約制度の高度化・最適化を検証し、観光バス需給マネジメントへ展開する。

京都観光デジタルマップの運営主体の移行

○2024年11月より京都国道事務所が運営管理を行っている「京都観光デジタルマップ(京スマ)」について、**実証段階から社会実装段階へフェーズが移行したことを踏まえ、2026年4月に京都市および(公社)京都市観光協会へ運営主体を移行**。

○ただし、観光と交通の一体的マネジメントの推進にむけ、移行後も**三者連携体制**のもと、取組みを進めていく。